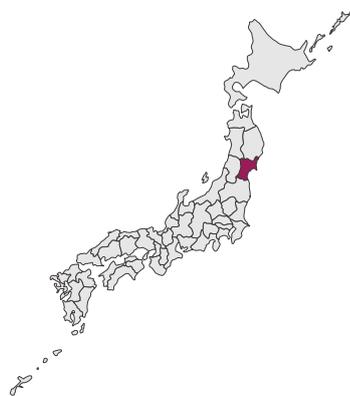


宮城県農業信用基金協会

1 宮城県の紹介

宮城県は、東北地方の東南部に位置し、西は秋田県、山形県、南は福島県、北は岩手県に接しております。西部一帯は奥羽山脈が連なり、1,500 m以上の標高を有する刈田岳、舟形山、栗駒山等の諸峰がそびえています。また、北東部には北上高地、南部には阿武隈高地が走り、これらの間には標高100 m前後の丘陵地と北上川、鳴瀬川、名取川、阿武隈川などによってつくられた豊かな穀倉地帯である東北一の沖積平野である仙台平野が広がっています。



伊達正宗公騎馬像 (2)

気候は太平洋側気候に分類され、全般に夏期は酷暑が少なく、冬期でも降雪量は東北地方の中では少なめで比較的温暖で過ごしやすいのが特徴です。

観光では、日本三景の一つである松島や東北三大祭りのひとつにも数えられる、伊達政宗公の時代から続く仙台七夕まつりに加えて、秋保温泉、鳴子温泉、作並温泉、遠刈田温泉など温泉地も多くあります。



仙台平野 (1)

海岸は太平洋に面し、牡鹿半島を境に北部は複雑なりアス海岸が続き、南部は砂浜の続く平滑な海岸線となっております。

県土面積は7,282.29km²、人口247万人(令和6年10月)となっており、県庁所在地は東北地方で唯一の政令指定都市(人口109万人)仙台市で県内35市町村があります。



日本三景松島 (3)



仙台七夕まつり (4)

2 宮城県の農業

宮城県は、恵まれた気候風土と肥沃な大地により、農業産出額は、1,737億円(令和4年)でうち米が630億円(36.3%)、野菜が266億円(15.3%)、畜産752億円(43.3%)が占めています。

農産物では、仙台平野を中心に県内全域で稲作が盛んに行われ、耕地面積124,400haのうち8割以上102,300haが水田であり、全

国に誇るみやぎ米の品種として長年親しまれている「ササニシキ」、人気銘柄「ひとめぼれ」、「つや姫」に加え、プレミアムブランド米「だて正夢」や玄米食向け「金のいぶき」などで全国5位の生産量を誇っています。

また、「パプリカ」や「せり」は、全国トップクラスの生産量を誇り、仙台せりと河北せりは地理的表示(GI)保護制度に登録さ

れています。さらに、食卓を彩る果菜類「トマト」、「きゅうり」、「いちご」や気候風土や文化の中で生まれた「仙台曲がりねぎ」、「仙台白菜」、銘柄牛のトップブランドの「仙台



生産量全国1位のパプリカ



いちご (6)

牛」や「みやぎのポーク」、恵まれた気候で育つ「りんご」「なし」などの産地が形成され、宮城は多彩で豊富な食材に恵まれている「食材王国みやぎ」であります。



生産量全国1位のせり (5)



県有基幹種雄牛 茂福久

※ 写真(1)～(6) 提供：宮城県観光戦略課

3 宮城県農業信用基金協会の概要

当協会は、理事8名（うち常勤2名）、監事3名の役員11名、職員12名で総務部と業務部の2部体制にて業務運営にあっております。



4 宮城県農業信用基金協会の活動

当協会では、令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策資金、令和3年度には米価下落対策資金、令和4年度には原油価格・物価高騰等対策資金の創設に伴い農業者等に対する農業経営の維持に資するため、保証料率の引下げや証書貸付による運転資金を県やJAバンク宮城と連携しながら柔軟な保証対応を図っております。結果、令和3年度以降農業資金の協会保証依存率は90%を超えております。

一方、住宅ローンにおいては、段階別保証料の導入に加えて、令和5年9月に稼働

した保証審査システムの活用により、自動審査による迅速な回答が可能となり、更なる保証利用拡大ができる仕組みが構築され、新規保証が増加傾向にあります。

今後も農林中央金庫仙台支店を中心とした各関係機関と連携を図りながら、JAグループが目指す「持続可能な農業の実現」「豊かで暮らしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての機能発揮」を目指し、県内の農業者等の円滑な農業経営に資するため、役職員一同一丸となって取り組んで参ります。